

暮らしに役立つ確かな情報をお知らせ

# 上手な暮らし塾

## 自治会

### 地域を元気に！あなたの町の自治会 〜深堀地区連合自治会〜

地域の親睦を深め、よりよいまちづくりのためにさまざまな取り組みをしている自治会。

今回は、深堀地区の新春行事である鬼火たき「おんのほね」におじゃまし、連合自治会の西清会長に話を伺いました。

—どのような行事ですか？

一年の無病息災を願う行事です。竹で作った約8メートルのやぐらに、各家庭から持ち寄ったしめ飾りなど、正月の縁起物を入れて点火します。神聖な炎が天高く上がり、竹のはじける音が聞こえるのを合図に、「おんのほね」という掛け声で厄災をはらいます。



一斉点火の様子

現在は青少年育成協議会と共催で行っています。多い年は千人ものかたがいらつじやるんですよ。  
—子どもたちもたくさん集まっていますね。

行事の中で重要な役割であるやぐらの竹の切出し作業を、子どもたちが中心となって行ったり、年末に各



深堀中学校の生徒がデザインした門松カード

世帯に配る「門松カード」のデザインを中学生から募集し、この場で優秀作品の表彰式を行ったりしています。子どもたちにも地域活動に協力してもらうことで、世代を超えた住民同士のコミュニケーションを図る良い機会になっています。住民が一体となって「オール深堀」でこれからも次の世代へつないでいきたいですね。

\* \* \*

会場となった深堀公園では、婦人会、子ども会など地域のさまざまな団体が、ぜんざいや豚汁などを参加者に振る舞っていました。住民が協力しあう姿は温かい気持ちにさせてくれますね。

このように自治会をはじめ、地域のごさまざまな団体が行事などを通して地域のつながりがづくりに取り組んでいます。みなさんもできることから地域活動に参加してみませんか。

#### 問い合わせ

自治振興課 ☎829・1134

## 消費者

### リボルビング払いの落とし穴 〜クレジットカード利用に気をつけて〜



消費者センターでは、借金などの債務返済の相談を受け付けています。

遅れずに返済しているから大丈夫と思っても実は利息を払っているだけで、元金はほとんど減っていないというケースも少なくありません。多重債務となる原因の多くは、生活費や遊興費のための借入です。また、クレジットカードのリボルビング払い（通称：リボ払い）も原因の一つになっています。

リボ払いは、あらかじめ決められた限度額内で買い物をして、毎月一定の額（元本返済額＋手数料）を返済するシステムで、支払いの計画が立てやすく便利です。

一方で手数料負担を考えず、無計画に利用を続けると、支払いが長期化し、手数料がかさむため、元本は減らず残高がどんどん大きくなります。気づいた時には大きな負債を抱

えていた！なんてことになりかねません。（買い物をして支払残高が増加すると、毎月の支払額も増加するというコースもあります）

—このようなことを防ぐために、次の三点に気をつけてください。

①クレジットカードを作る際に、支払いの要件を理解しましょう

リボ払いの要件は、カード会社によって異なります。リボ払い優先カードは黙って使うと全てリボ払いになりますので、カードを作る際にはよく確認しましょう。

②毎月の明細書をしっかり確認しましょう

WEB明細は確認を忘れがちになるので、要注意です。

③複数のカードでのリボ払いは極力避け、使うカードは管理できる枚数に抑えましょう



■ご相談は消費者センター（メルカフ）きまち4階、相談専用 ☎829・1234へお気軽にどうぞ。受け付けは午前10時～午後5時です。月曜日・休日の場合、直後の平日は休業。土日・祝日も相談できます。